

# 「らしき」輝く附属小



第9号 令和7年 6月 6日(金) 校長 森内 秀学

## 地域貢献活動の最終的な還元先

附属小の使命の一つに、「研究した授業づくりのノウハウを他校の先生方に還元する」という地域貢献活動があります。



6/5(木)は、県教育センターとタイアップして、終日、理科の授業研究会が行われました(左)。授業学級は4の1。単元名は、「とじこめられた空気と水」。めあては、「空気は押すと縮むのか調べよう」でした。

友達の意見をよく聞き取り、それに対する自分の予想と実験方法をい

きいきと発表する姿は、見ているこちらが圧倒されるほどでした。

授業を公開した後は、理科担当の職員が、参観者からの質問に答えたり、この次の時間の授業づくりについて、演習を通して助言したりしていました(右)。



人から授業を見られたり助言したりするこうした貢献活動は、本校の使命とは言え、何度やっても緊張するものです。でも、そうして身に付けた授業力や指導力は、地域の先生方はもちろん、本校の子どもたちに直接還元されていくものだと実感した1日でした。



## 歯磨き活動開始

新型コロナ感染拡大を防ぐためにお休みしていた給食後の歯磨きですが、「試しに」復活させました。「試しに」というのは、「児童数に対して水道の数が少ない学校のつくり」や、「食べ終わるのに時間がかかるため、歯磨きの時間を確保しにくい」という現状を、どうすれば打開できるか検討するためです。

先日、大谷翔平選手が、夜の9時ぐらいに寝て7時半ぐらいに起きる習慣をつけてくれた両親に感謝を述べていました。子どもの頃の習慣は、大人になっても大きな影響を与えます。食べたら磨く。その習慣化が本校でも図れるよう、しばらく様子を見てみます。